

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060804050101	事務事業名	図書館運営事業	担当部	教育部		
				担当課	国分図書館		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理図書グループ		
施策名	05	学習機会の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	学習環境の整備		内線番号	3052		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、同条例施行	
	項	06 社会教育費				霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画	
	目	08 図書館費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

・市内に国分・単人図書館、溝辺・横川・牧園・霧島・福山図書室の2図書館、5図書室が設置されている。公共図書館としての役割を果たすために多様な資料の整備に努め、幅広い年齢層の方たちに応じた資料の提供を行う。
 また、未所蔵資料に対する購入希望状況、予約の状況等や図書の出版状況(ベストセラーの把握、新聞等の書籍の紹介)等にも目を向けながら購入を進めたり、相互貸借での対応で利用者の要求にこたえ、図書資料の収集、整理、提供等を行う。さらに、図書館施設の維持管理を行う。
 ・貸出冊数…5冊以内
 ・貸出期間…15日以内
 ・貸出対象者…市内に住んでいる方、市内の学校に通学している方、市内の職場に通勤している方

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 入館者数	人	264,409	259,269	244,090	253,000	262,000
イ 蔵書冊数	冊	401,668	407,520	409,826	415,000	420,000
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 欲しい情報を得られる	貸出者数(移動図書館を除く)	人	110,692	112,104	106,056	110,000	114,000
イ	貸出冊数(移動図書館を除く)	冊	377,815	372,775	357,731	367,000	377,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	29.2	27.2	24.8	28.3	28.5
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和33年に市民の学習環境を充実させるため、国分市立図書館が設置された。
 インターネットなどの新たなメディアを通じ情報の取得が可能となっており、個人一人ひとりの情報ニーズが多様化している。活字離れが進んでいると言われるが、根強い読書、書籍ファンも多い。
 利用者から、「図書館(室)の蔵書を増やしてほしい」「開館時間を早めて欲しい」「開館時間を長くしてほしい」「学習室の席を増やしてほしい」等の蔵書、運営方法、施設改善等の要望がある。
 平成26年12月市議会常任委員会において、市立図書館の指定管理者制度導入について、検討を進めるべきではないかとの意見があった。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	71	86	76	67
		一般財源	千円	48,943	59,189	47,762	49,318
		事業費	千円	49,014	59,275	47,838	49,385
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 各図書館(室)において、蔵書構成のバランスをとりながら一般図書、児童図書等の収集、整理、提供等を行った。さらに、図書館施設の維持管理を行った。 県立図書館、県内の公共図書館及び大学図書館等のインターネットによる蔵書検索を行い、貸出の充実や公共図書館相互貸借の推進を図った。 図書館ボランティアの養成講座を開催し、図書館をより身近に感じてもらえるような活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館施設の維持管理により適切な運営ができた。 公共図書館相互貸借により、利用者が望む本の貸出しができた。 図書館ボランティア養成講座を行うことにより、新たに8名の方が登録され、身近な図書館づくりを進めることができた。 平成27年度から郷土資料収集事業を統合する。

事務事業コード	0110060804050101	事務事業名	図書館運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、欲しい情報を得られることにより、学習しやすい環境が整うことに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を行う機関である。地域の情報の拠点、読書施設、図書資料等各種情報の保存機関、生涯学習の支援施設等として市が実施すべき事業である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	図書のリクエスト等を受け市民の要求を把握し、それに伴う資料の購入、他公共図書館との相互貸借を行ったり、広報誌・図書館だより等を活用して図書の紹介や行事案内を行うことで、成果が向上する余地はある程度ある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民が、図書資料等を利用して情報等を得られなくなり、教養と文化の向上に支障が出てくる恐れがあるので影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市民の多種多様な要望に応え運営を維持していくためには、削減は困難である。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度の導入により、人件費を削減することができると考えられる。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館は全ての市民が利用可能であるので公平・公正である。また、図書館法第17条の規定により入館料その他図書資料の利用については無償となっている。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○				
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・電算システムが更新時期を迎えることから、導入システムの内容検討が必要である。 ・効率的な図書館運営のために、どのような運営方法が適しているか、検討を進める必要がある。 ・図書館指定管理者制度について、県内及び県外自治体に対してアンケート調査を実施し、調査結果を参考に指定管理者制度の導入について検討する。 							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	入館者数が減少傾向にあることから、情報提供の充実を図り、利用者増を目指していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○		○		
(2)総評	郷土資料収集事業を図書館運営事業に統合することにより、事務の効率化を図ることができた。図書館運営に指定管理者制度の導入を検討するために、「図書館指定管理者制度検討会」を設置、他自治体の状況を調査し費用対効果等の検討を行いながら導入の可否を判断する。また、保守期間の終了する図書館電算システムのクラウド方式による更新を早急に図る必要がある。							

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060804050102	事務事業名	移動図書館運営事業	担当部	教育部		
				担当課	国分図書館		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理図書グループ		
施策名	05	学習機会の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	学習環境の整備		内線番号	3052		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 43 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則	
	項	06 社会教育費					
	目	08 図書館費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市教育振興基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

図書館から遠隔地にある地域、住宅、団地、小学校等に移動図書館車での図書資料の巡回サービスを実施し、市民の教養と文化の向上を図るための学習環境づくりを支援する。

- ・国分図書館移動図書館車「しろやま号、しろやま号小型」、単人図書館移動図書館車「すずかけ号」
- ・巡回箇所85箇所
- ・配本所27箇所
- ・貸出冊数 10冊以内
- ・貸出期間 1ヶ月以内(次回巡回日まで)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 巡回箇所	箇所	82	82	85	85	85
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 欲しい情報を得られる	貸出者数(移動図書館分のみ)	人	10,007	9,996	9,773	10,000	10,200
イ	貸出冊数(移動図書館分のみ)	冊	46,926	47,250	46,161	47,000	48,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	29	27	25	28	29
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和33年に市民の学習環境を充実させるため国分市立図書館が設置され、その後、昭和43年に移動図書館車を購入し、巡回が始まった。インターネットなどの新たなメディアを通じ情報の取得が可能となっており、個人一人ひとりの情報ニーズが多様化している。活字離れが進んでいると言われるが、根強い読書、書籍ファンも多い。合併を機に巡回箇所が増えた。小学校では月1回の巡回を見守る子どもたちが楽しみに待っている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,853	3,677	3,790	3,893	3,893
	事業費	千円	3,853	3,677	3,790	3,893	3,893
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
図書館から遠隔地にある地域、住宅、団地、小学校等の巡回場所の見直しを行い、移動図書館車での図書資料の巡回サービス(巡回箇所 85箇所、配本所 27箇所)を行った。 小学校の調べ学習等の要望にも応え、資料の選定・提供を行った。 国分図書館の移動図書館車「しろやま号」の車検整備を行った。 また、単人図書館の移動図書館車「すずかけ号」の点検整備を行った。	・巡回場所の変更、追加により、多くの地域の人々に図書資料の提供ができた。 ・移動図書館車の整備を行うことにより、計画的な運行を行うことができた。

事務事業コード	0110060804050102	事務事業名	移動図書館運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、欲しい情報を得られることにより、学習しやすい環境が整うことに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を行う機関であり、移動図書館はその一部である。市民の生涯学習の支援として市が実施すべき事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在、市内85箇所を巡回している。今後も巡回場所の見直しを行い、市民の利便性を図ることで、成果の向上余地はあるものとする。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民が、図書資料等を利用して情報等を得られなくなり、教養と文化の向上に支障が出てくる恐れがあるため影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費のほとんどは燃料費、車両修繕費用、車検費用、運転手の人件費と移動図書館車の維持・運行のための経費である。現時点においてはこれ以上の削減余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	ただ単に本を積み込んで、巡回するだけではなく、巡回先の利用者の読書傾向等を加味した図書資料の積載が必要である。現行、事業に要する人件費は、少人数で移動図書館用図書の選書、積み込み、運行等を行っており、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	移動図書館も全ての市民が利用可能である。また、図書館法第17条の規定により入館料その他図書資料の利用については無償となっている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・巡回場所、日時の周知に努め、利用者増を目指す。 ・学校図書館等との連携を図り、市民の要求に合った図書の提供に努める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	巡回場所の見直しを図り利用者増を図るとともに、引き続き移動図書館車の広報に努め、利用促進を目指していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110060804050103	事務事業名	市図書館協議会運営事業		担当部	教育部
					担当課	国分図書館
政策名	04	育み磨きあうまちづくり			グループ	管理図書G
施策名	05	学習機会の充実			電話番号	45-5111
基本事業名	01	学習環境の整備			内線番号	3052
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10 教育費				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～)
	項	06 社会教育費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)
	目	08 図書館費				根拠法令・条例等
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

図書館の運営に関する事項を審議する霧島市立図書館協議会を開催し、図書館サービスの充実、向上を図る。委員の構成は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者とし、委員の定員は10人以内とする。
年3回の定例会と必要に応じて臨時会を開催する。
出会に応じて、委員報酬及び旅費を支給する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 協議会開催回数	回	3	3	3	3	3
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 図書館を利用する							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

女性委員の登用が推進されているが、平成26年度現在の市図書館協議会の女性委員の占める割合は70%である。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			134	161	161
	事業費	千円	0	0	134	161	161
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
第1回市図書館協議会(委員9人出席) ・平成25年度実績報告について ・平成26年度図書館運営について 第2回市図書館協議会(委員6人出席) ・平成26年度途中経過報告について 第3回市図書館協議会(委員10人出席) ・平成26年度途中経過報告について ・平成27年度図書館運営・事業計画について	図書館でも総合的な視点で児童生徒の読書動向の把握が必要であるとの意見が出された。調査の結果、市内の学校や地域の図書館の利用状況は、全国や県平均より高いことが判った。

事務事業コード	0110060804050103	事務事業名	市図書館協議会運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	委員の報酬及び旅費のみであり、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最低限の職員が携わっており、職員以外の対応や委託による人件費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
(1)事務事業の改革改善の方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成27年度が委員改選に当たるので、引き続き女性委員の登用を推進して、多面的な意見を図書館運営に反映できるように努める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	図書館の運営方針に市図書館協議会で審議された改善点等を盛り込み、円滑な図書館運営を行っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060804050104	事務事業名	郷土資料収集事業	担当部	教育部		
				担当課	国分図書館		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理図書グループ		
施策名	05	学習機会の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	学習環境の整備		内線番号	3052		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則	
	項	06 社会教育費					
	目	08 図書館費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市教育振興基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市や鹿児島県に關連する郷土資料・書籍資料等の収集、整理、保管を行い、閲覧、貸出等に供する。事業の見直しにより、平成27年度から図書館運営事業に統合する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 収集した郷土資料冊数	冊数	296	283	331		
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773		
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 郷土資料に触れる機会を増やし、ふるさとを誇りに思ふ気持ちや愛する心を育てる。	郷土資料の貸出冊数	冊	1,374	1,342	1,334		
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	29	27	25		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 昭和33年の国分図書館設置と同時に郷土の歴史的、文化的資料を後世に引き継ぐために事務事業が始まった。
 平成17年の合併による霧島市の誕生に伴い、旧1市6町を対象に、歴史的、文化的資料の収集が始まった。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	149	137	124	0	0
	事業費	千円	149	137	124	0	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
霧島市や鹿児島県に關連する郷土資料・書籍資料等の充実を図った。霧島市にゆかりのあるおじゃんせ霧島大使の紹介コーナーを設置した。郷土資料は禁帯出(原則貸し出しができない)の図書資料が多いため、禁帯出本を市内の図書館、図書室間で相互に貸借し、館(室)内で閲覧ができるように継続して行った。	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の貸出冊数は、ほぼ昨年度のみであった。 おじゃんせ霧島大使著書の貸出冊数は、前年度比3.6倍に増加した。 平成27年度から図書館運営事業に統合する。

事務事業 コード	0110060804050104	事務 事業名	郷土資料収集事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理 由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効 率 性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
D 公 平 性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
C 効 率 性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？		
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
C 効 率 性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？		
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
D 公 平 性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
						○		
(2)平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)								
(3)平成28年度の方向性・取組目標								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総 評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060804050201	事務事業名	図書館読書推進事業	担当部	教育部		
				担当課	国分図書館		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理図書グループ		
施策名	05	学習機会の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	02	学習活動の推進		内線番号	3052		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、同条例施行	
	項	06 社会教育費					
	目	08 図書館費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

多様な読書行事等への参加を通して読書への興味、様々な学習への興味を喚起することにより、学習活動の推進を図る。
 【開催行事等】
 ブックスタート、子ども読書の日、おはなし会、おはなしの部屋、夏休み特別講座 (植物採集教室、昆虫採集教室、からくり絵本教室、植物名付け会)、緑陰読書、おはなし王国等読書まつり、図書館だより等の作成・配布等

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 行事の開催回数	回	227	199	227	227	227
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 読書に興味を持ってもらう	読書に興味を持った参加者数	人	7,074	6,785	6,248	6,700	7,100
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 自分のテーマに合った学習機会が得られる	学習活動を行わない理由として、自分のテーマに合った学習機会がないことをあげている市民の割合	%	16	14	13	13	12
イ 自分のテーマに合った学習機会が得られる	学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないことをあげている市民の割合	%	22	17	17	23	23
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

多くの市民に読書に興味をもってもらい、学習活動を推進するため、昭和33年に図書館設置とともに開始された。紙媒体の情報よりインターネットなどの新たなメディアを通じた情報の取得が重要視されてきているが、親子読書活動など本を通じた心のふれあいが、現代社会の中で見直されてきている。ブックスタートの取組は、保護者から好評を得ている。平成22年第2回市議会定例会で、セカンドブック事業の実施を検討してほしいとの意見があった。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	682	671	686	695
		事業費	千円	682	671	686	695
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
各種読書推進行事等の開催 ・ブックスタート(24回、1,114人参加) ・おはなし会、おはなしの部屋(190回、3,577人参加) ・夏休み特別講座(4回、168人参加) ・緑陰読書(1回、73人参加) ・おはなし王国等読書まつり(8回、1,316人参加) 学校図書館、読書ボランティアグループとの連携図書館だより等の発行	市民(特に乳幼児、小中学生)を対象とした行事等の開催や、学校図書館・読書ボランティアとの連携による各種事業及び図書館だより等の広報活動を実施することにより、読書に対する興味・関心の醸成及び読書活動の推進が図られた。 また、ブックスタートの活動により、乳幼児の保護者に乳幼児期からの読み聞かせが、赤ちゃんの言葉と心を育むためには大切なことであるとの認識が浸透しつつある。

事務事業コード	0110060804050201	事務事業名	図書館読書推進事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が読書に興味を持ってもらうことにより、自分のテーマに合った学習機会が得られることに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館法及び子どもの読書活動の推進に関する法律により、読書推進を自治体が行うことが求められている。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	図書館(室)とボランティアグループ等が連携をとり、読み聞かせ、おはなし会等の活動の場を増やしたり、館内見学等の受け入れにより図書館が身近な施設と感じてもらい、おはなし会などに足を運ぶきっかけを作ることで成果の向上が期待できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	読書推進活動を廃止、休止した場合、読書離れが進み、教育と文化の向上に支障が出てくる恐れがあり影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は、各行事等の報償費、消耗品費であり、これ以上の削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最低限の企画、運営業務にしか職員は携わっておらず、ほとんどがボランティアの方々の協力を得て事業を実施しているものであり、業務時間の削減余地はない状態である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	読書推進事業の受益者は図書館の利用者、おはなし会等の参加者であるが、すべての市民を対象として呼び掛け、実施しているため、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	読み聞かせボランティアグループ等との連携を図り、活動の場を提供し支援を行う。特に、ブックスタートのボランティア募集を強化して、活動内容の充実に努める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	子どもから大人まで誰もが気軽に本と親しめるように、市内7ヶ所で開催している読書まつり等の内容の充実に努めていく。また、ブックスタートについては、各図書館(室)、ボランティアが一体となって実施し、読み聞かせやおはなし会の情報提供等を行っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	011006089999991	事務事業名	図書館関係各種協議会等参画事業	担当部	教育部	
				担当課	国分図書館	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり			グループ	
施策名	05	学習機会の充実			電話番号	
基本事業名	01	学習環境の整備			内線番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)	
	款	10 教育費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	項	06 社会教育費				
	目	08 図書館費			根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

日本図書館協会、鹿児島県図書館協会、鹿児島県図書館協会始良伊佐支部に加盟し負担金等を支払うことで、図書館に関する各種研修会への参加、情報収集等を行い職員の資質向上を図るとともに図書館運営の充実を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 加盟団体件数	件	3	3	3	3	3
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 加盟団体							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 活動を円滑にし、会員の資質向上を図る							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

鹿児島県図書館協会の会員は、昭和60年には95自治体であったが、市町村合併により平成26年度には44自治体に減少している。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			170	171	171
	事業費	千円	0	0	170	171	171

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【負担金・会費支払】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度鹿児島県図書館協会負担金(121,990円) 平成26年度鹿児島県図書館協会始良伊佐支部負担金(39,320円) 平成26年度日本図書館協会会費(9,000円) <p>【研修会参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度県内図書館(室)長及び業務担当者会(2人) 平成26年度鹿児島県図書館協会研修会(1人) 平成26年度鹿児島県図書館大会(18人) 第100回全国図書館大会(東京大会)(1人) 平成26年度県図書館協会始良伊佐支部先進地研修視察(7人) 平成26年度地域の読書活動グループ活性化研修会(9人) 	<p>鹿児島県図書館協会、鹿児島県図書館協会始良伊佐支部、日本図書館協会に負担金等を支払うことで、図書館についての各種研修会への参加、情報収集等ができ、職員の資質向上や図書館運営の充実を図ることができた。</p>

事務事業コード	0110060899999901	事務事業名	図書館関係各種協議会等参画事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由			
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？				
	<input type="checkbox"/> 結びついている				
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている				
	<input type="checkbox"/> 結びついていない				
② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？					
<input type="checkbox"/> 妥当である					
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？				
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある				
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある				
		<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない			
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？				
	<input type="checkbox"/> 影響がある				
<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない					
⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等				
<input type="checkbox"/> 類似の事業はない					
<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない					
<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる					
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	加盟団体からの負担金等は、人口の区分等により定められた金額により支払っているため、事業費の削減はできない。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない				
	<input type="checkbox"/> 削減できる				
⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	加盟団体からの請求に応じた支払い事務のため、職員以外の対応や委託による人件費の削減はできない。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない				
	<input type="checkbox"/> 削減できる				
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？				
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島市立図書館が加盟する各種協会が主催する研修会への参加が十分にできていないため、参加者の増を図る必要がある。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	霧島市立図書館が加盟する各種協会が主催する研修会への参加者増を図り、職員の資質向上を目指していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

